

4/11~12

春の山野草展
季節を感じる作品200鉢

みちくさ山草会・小松島（川田絢子代表）主催の「第27回春の山野草展」が4月11日、12日の2日間、市中央会館で開催されました。

会場には、エゾイソツツジ、姫シヤクナゲ、フジ桜、一人静、チャボリンドウ、マジユガなど会員が丹精込めて育てた山野草約200鉢を展示。

また、同会員が集めて育てた1000点を超える山野草や鉢のチャリティ即売会も行われ、お目当ての山野草などを手にした来場者は、終始なごやかな雰囲気で購入していました。

同会の山野草展は、毎年春と秋の年2回行われており、14年目を迎えた今年も盛況でした。



お気に入りの作品を写真に撮る来場者



小松島市新港のステーションパークSL広場西側のハナミズキが白やピンクの華麗な花弁をつけ、道行く人たちの目を楽しませていました。（写真は4月17日撮影）

緑の募金

3月24日、市役所玄関前で行われた苗木の無料配布。その会場には、緑の募金箱が設置されており、10,105円が募金されました。

また、昨年の12月に行われた「第4回こまつしま・うまいもん祭り」で、ひょうたんのストラップを販売した南小松島小学校6年1組から、ストラップの売上金11,300円が「緑の募金」として募金されました。

善意の寄付

チャリティを目的としたカラオケ大会である『杉の子歌謡ショー』（細谷タマノ代表）が、3月15日、市総合福祉センターで催されました。

同歌謡ショーの世話役の方が4月1日、市役所を訪れ、チャリティ金58,835円を市に寄付されました。

世界大会で銅メダル！
小松島市出身の久米さんが
快挙を成し遂げる

昨年の9月1日から6日までの6日間、ポチエストローム（南アフリカ・ノースウエスト州）で開催された「第26回世界ジュニア・パワーリフティング選手権大会」へ小松島市出身の久米亮平さんが出場しました。

大会3日目（9月3日）のジュニア男子67.5kg級に出場された久米さんは、トータル重量で542.5kg（スクワット202.5kg《自己ベスト》、ベンチプレス162.5kg、デッドリフト177.5kg）を記録。見事第3位に入賞され、世界大会で銅メダルを獲得するという快挙を成し遂げられました。



その吉報を知った久米さんの知人の方から3月末、市役所へ明るい話題として報告されたので、お知らせします。

久米さんは、小松島高等学校を卒業後、岡山大学工学部に進学。現在も在学中で、同大学のウェイトトレーニング部に所属され、ご活躍されています。



銅メダル獲得の報告ため
小松島高校を訪れた久米さん